



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム

論理と感性の先端的教育研究拠点

慶應義塾大学 CARLS 哲学・文化人類学グループ公開シンポジウム&ワークショップ

At the Crossroads of Cultural Research and Clinical Practice

他者認識・共生にのぞむ感性：文化研究と臨床実践の交差点

日時：2010年3月22日(月) 13:00~17:30 * 23日(火) 17:30~19:00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス東館4Fセミナー室 <http://www.keio.ac.jp/access.html>

第一部 「文化と臨床」 研究ワークショップ 2010年3月22日(月) 13:00

- 13:00 大沼麻実 (慶應義塾大学・医療人類学)
「アルコール依存症の問題を抱える家族の 認識論 の変化についての研究」
- 13:30 皆吉淳平 (慶應義塾大学・バイオエシックス)
「脳死問題をめぐる『論理』と『感情』:2009年「臓器移植法改正」論議をめぐって」
- 14:00 Mohácsi Gergely (東京大学・文化人類学) コメント

第二部 「多文化的臨床感性」 シンポジウム 2010年3月22日(月) 14:30

- 14:30 野村直樹 (名古屋市立大学・臨床人類学 教授)
「時間病を治す時間を求めて・・・E系列の時間の可能性・・・」
- 15:30 石山一舟 (University of British Columbia・臨床心理学 准教授)
「多文化社会における心理援助と臨床訓練・多文化的臨床感性のあり方--カナダからの提言」
- 16:30 堀口佐知子 (上智大学・文化人類学) コメント
- 17:00 総括討論

司会 宮坂敬造 (慶應義塾大学・文化人類学 教授)

*

第三部 「家族のこころの現場」 研究ワークショップ 2010年3月23日(火) 17:30

- 17:30 照山絢子 (University of Michigan・文化人類学)
「『発達障害は増えているのか』という問いをめぐって」
- 18:00 生田倫子 (日本ブリーフセラピー協会)
「日本における多世代同居に求められる社会的スキルとその獲得過程に関する実証研究」
- 18:30 全体討論

会費無料・事前登録は不要。

主催・企画 慶應義塾大学内・相互的感情身体知の文化医療人類学・人間科学研究会

慶應義塾大学 GCOE 「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学チーム

お問い合わせ先：慶應義塾大学文学部・宮坂敬造 Fax: 03-5427-1578 <http://www.carls.keio.ac.jp/>

Centre for Advanced Research
on Logic and Sensibility